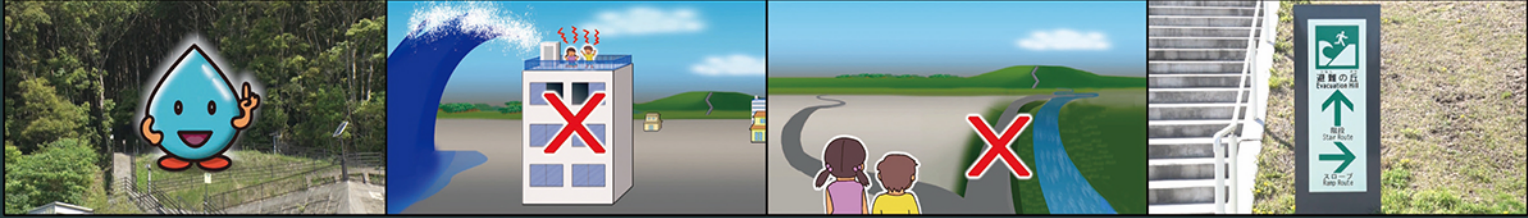


小学校
中・高学年向け
約19分

どこに ひなんすればよいの？ 南海トラフ地しん 大つ波がくる

文部科学省特別選定



中学生・
高校生向け
約21分

どう向きあえばよいの？南海トラフ巨大津波 大津波の経験を伝えたい

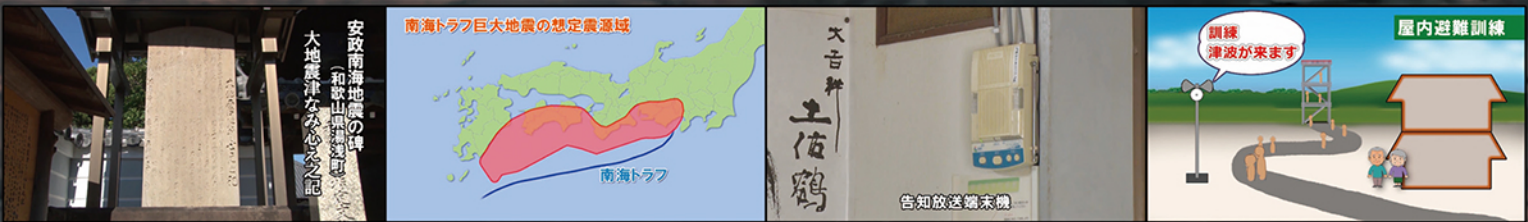
文部科学省選定



一般向け
約22分

南海トラフ巨大津波 どう備えるべき？ 避難が命を守る鍵となる

文部科学省選定



監修者の言葉



東北大学災害科学国際研究所
所長 / 津波工学教授
今村 文彦

21世紀に入り、地震や津波、風水害などの自然災害が発生し、大きな被害を受けています。特に津波災害については、最近20年間（1998-2017）では過去にない頻度・規模・様相であり、世界で25万人以上の尊い命が失われています。2004年インド洋津波、2011年東日本大震災など、大規模な被害は記憶にも残されているかと思いますが。加えて、南海トラフ地震・津波の発生の可能性も高いと指摘されています。この地域では、地震の発生する領域が沿岸に近く、強い揺れのあとに短時間に人口密集した広い範囲の沿岸各地を襲うことが予想されています。

津波の影響は広域で甚大ですので、大きな被害が予想されますが、発生から猶予時間もあり、早期に適切な避難を実施すれば、人的被害をゼロにすることも可能です。我々の認識や努力で命を守ることが出来るのです。そのためには、漫然と意識をしても対応は出来ません。まずは、津波に関する性質や特徴などの知識を持って頂き、次に、突然発生する場合にどこへ、いつ、どのように避難するか？判断し行動することが非常に大切です。そのためには、ハザードマップなどを持って、住んでいる地域を歩いて、危険性や安全な場所などを点検しておくことも必要です。このような活動は、洪水や高潮の場合にも有効なはずで、このDVDを参考に、是非備えの活動を始めていただきたいと思います。

南海トラフ地震の危機が迫っています。南海トラフ地震では、2011年の東日本大震災を越える規模の大津波が、短時間で人口の密集した広い範囲の沿岸各地を襲うことになるため、東日本大震災を上回る大災害になるのではと懸念されています。

本作品では、南海トラフ地震の巨大津波が来襲したときに何が起こり、どのような危険がもたらされるのかについて、東日本大震災の教訓をふまえて示します。次に、津波が予想されるときに個人としてどのように行動すべきか、そのポイントと心がけを紹介します。また、南海トラフ地震で津波が予測される地域では、被害を減らすために地域として何ができるのか、どう備えたらいいのかを、高知県黒潮町の取り組みをモデルに紹介します。

被災者の体験や研究成果によって示される津波の脅威。津波から生き延びるために何ができるのかを考え、行動するための一助となることを目指します。

小学校中・高学年向け 約19分 文部科学省 特別選定 **どこにひなんすればよいの？ 南海トラフ地しん 大つ波がくる**

■つ波を知る

大きな被害をもたらす津波は、どうして起こるのか。津波発生の仕組みや性質を説明する。

■地しん発生、つ波から命を守る

津波発生時に命を守るため、高いところに逃げる、川の側を避ける、避難したら戻らないという3つのポイントについて、クイズ形式で説明する。

■つ波に備える

津波から命を守るための心がまえについて考える。普段から津波がきたらどう行動するか自分でよく考えて、家族、友達、そして地域の人たちと一っしょに備えておくことが大切である。

ライブラリー価格 本体 ¥65,000+税
学校価格(小学校のみ) 本体 ¥33,000+税

中学生・高校生向け 約21分 文部科学省 選定 **どう向きあえばよいの？ 南海トラフ巨大津波 大津波の経験を伝えたい**

■南海トラフ地震と津波

津波はどうして発生するのか。その仕組みを説明する。

■津波の脅威

多くの人の命を瞬く間に奪いとる津波の破壊力とはどのようなものだろうか。津波がどれほど危険なものか、被災者の体験談や専門家の話、実験などから見ていく。

■津波から命を守る

津波から命を守る具体的なポイント5点を確認しながら、わたしたち一人一人が、かけがえのない命を守るために、どう行動するかを真剣に考え、備える必要があることを強く訴える。

ライブラリー価格 本体 ¥65,000+税
学校価格(中学校・高校のみ) 本体 ¥33,000+税

一般向け 約22分 文部科学省 選定 **南海トラフ巨大津波 どう備えるべき？ 避難が命を守る鍵となる**

■南海トラフ地震とは

今、南海トラフには、ひずみが溜まっており、巨大地震がいつ起きても不思議ではない状況にある。

■津波の怖さとは

南海トラフ地震が発生した場合、東日本大震災を上回る引き波や河川津波が発生し、甚大な被害をもたらす可能性がある。これまでにない未曾有の災害となる恐れがあり、その備えが緊急の課題となっている。

■津波から生き延びるには

都市を襲う津波から命を守るには、短い時間にすばやく避難する

必要がある。ハザードマップを活用し、事前に備えておくことが重要である。

■地域の取り組み

巨大津波の脅威に直面する街・黒潮町では、防災関連設備を整えるほか、地区内の住民の情報を把握して訓練を積み重ねることで、防災意識を高め、緊急時に備えている。

ライブラリー価格 本体 ¥65,000+税

監修 東北大学災害科学国際研究所 所長
津波工学教授 今村 文彦

企画・制作統括 高木 裕己 脚本・演出 川崎 けい子

制作・著作/株式会社 映学社
■DVD [カラー] ■2019年・映学社作品

●お問い合わせ、お買い上げは……



〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>